


鹿児島市及び連携中枢都市圏3市のNPO（市民活動団体）のご紹介

たなか てつろう

NPO法人くらしと介護（理事長 田中 哲郎）



考えるだけでなく、
実際に住みたい施設を見に行ってください。
自分の目で確かめれば、雰囲気は分かるはずです。

もし自分の親が介護施設を必要としたとき、あなたは最適な施設を見つけられるだろうか。必要な介護保険サービスや費用は？『NPO法人くらしと介護』はそういった状況で相談に乗ってくれる心強い団体だ。代表の田中哲郎さんにお話を伺った。

50で退職、NPOを立ち上げる

田中さんは大学卒業後、クレジットカード会社に就職した。27年間務めたが50歳のときに退職。母のパーキンソン病がきっかけだった。「母の介護をしていたことで父も圧迫骨折を患ってしまって」。平成14年の暮れ、両親が同時期に入院となり、2人の介護のため、毎月一回は勤務地の福岡から鹿児島へ定期的に帰ってきていた。その後、会社には鹿児島に勤務希望を出したものの、仕事と家庭、介護の大変さから仕事を辞める決意をした。それからは介護をしながら行政書士の資格を取得しようと三年間頑張ったが実らなかった。そんな中、田中さんは両親の介護の経験や、周囲の話を聞いて、高齢者の介護施設探しが大変難しいことを知る。施設を探している高齢者やその家族と、自分の施設を紹介したい介護施設をWin-Winの関係につなげられるサイトを作成したいと考え一人「株式会社」を設立。掲載する施設と年間契約を結びサービスを始めた。しかし最初の頃は赤字だったという。「そんな時に福祉関係の知り合いから相談業務の部分は社会的信用も得られ、各種助成金を受けやすいNPO法人にしたらいいのではないかと勧められました」。そうして現在のNPO法人に形を変え、『NPO法人くらしと介護』の活動が始まった。

安心を紹介

『くらしと介護』では具体的にどのような活動を行っているのだろうか。今回取材に訪れていた福祉多目的スペース『オレンジテラス城西』も活動の一つの場所になっている。ここで毎週火曜日に高齢者施設選びの無料相談会を行う。まず、相談者にヒアリングを行い、『くらしと介護』で条件に合う施設をリストアップする。この際、田中さんが重視しているのが、利用する人が安心して満足のできる生活が送れることと介護レベルに合わせた質の高いサービスを提供する施設選びだ。入居対象者の介護レベルには要支援1～2、要介護1～5がある。要支援対象者はトイレや着替えなど身の回りのことはできるが、自宅での一人の生活がやや困難になっている人たちで、市の地域包括支援センターが最初の窓口となる。

施設には種類があり、そこから施設に関する希望や相談をもとに田中さんのNPO法人が仲介に入り、『ケアハウス』や『サービス付高齢者向け住宅』などの施設を紹介する。

「要介護者は要支援者以上に介護を必要としている方です。認知症が進行して日常生活が難しくなったりした方も対象になります。相談者へは『介護付老人ホーム』や『住宅型有料老人ホーム』などを紹介し、要介護のレベルが上がった場合は『特別養護老人ホーム』などへの住み替えなどを提案します」。相談者には要介護者の子供さんのほか兄弟や甥御さん、姪御さんなど、50から70歳代の方が見えるそうだ。鹿児島の実家に住む親のために、休暇を取って関東や関西から来られる方もおられ、月に20件ほどの相談があり1割は県外からである。そして相談件数の全体の2割から3割が実際の入居につながるそうだ。

見て感じる自分のもう一つの家

田中さんは実際に目で確かめて施設を決めることの重要性を教えてくれた。「最近、家族だけがサービスの内容を気に入って選んだり、介護専門の方の紹介や助言で施設を決めてしまったりしているケースも多いです」。後日、本人を連れて施設見学に行くと、施設の雰囲気から本人が入居したくない、と拒否することもあったそうだ。また、頻繁にかかわるからこそ実際にケアしてくれる職員との相性も大事だ。「例えば実際に見学したら玄関の横にスリッパが山積みなんてことも。実際に見に行くことで施設の雰囲気を知ることができます」。相談会でそういった施設の『見方』も教えてくれる。

目指す未来

「将来は高齢者入居施設選びの相談サロンをつくりたいですね」。駅や街中など便利な場所に施設のパンフレットを置くことができれば、いつでも自由に手に取ることもでき、遠くから相談に来る方も時間に縛られずにすむ。その中で田中さん自身もその場で相談にのれるサロンが理想だと語る。「NPOの活動は他力本願ではなく、自分で動かなければなりません。知名度を上げるにしてもテレビなどで取り上げられやすい災害などの支援団体もありますが、全ての団体がそうではないですからね。ボランティアではないので長く活動を続けるなら、補助金を当てにせず、収支も含めた仕事のスタイル、安定した収益の基盤を確保する必要があります」。介護する立場から立ち上げた田中さんの言葉には中途半端ではない、信念を感じた。

NPO法人くらしと介護 団体概要

主な活動内容

高齢者の入居施設探しの支援活動と選び方のアドバイス/介護者の負担軽減活動/良質なサービスの提供を行っている施設の紹介/要介護者を支える家庭に、高齢者の安全で快適な生活を支援するための情報提供/高齢者施設を中心にした情報提供サイトの運営



今後の展望・PRしたいこと

展望としては、高齢者の入居施設選びの相談サロンをつくること。駅や街中などの便利な場所にいつでも相談できる、情報を得られる場所があることで相談しやすい環境をつくる。PRとしては、住みたいと思う施設を実際に見に行っていただくことはお勧めしたい。

課題への取り組み

サービス内容や周囲から受けた助言だけで施設選びを判断するのではなく、実際に自分の目で確かめて施設を選択してもらうこと。また、その際に施設を見るポイントをお伝えするようにしている。

お問い合わせ

- 団体名：NPO法人くらしと介護
- 理事長：田中 哲郎
- Tel：090-8356-3103
- Mail：npo.kurasi@har.bbiq.jp
- ホームページ：https://www.kurasitokaigo.com/